

進路通信

11月に入り、部活動や委員会活動、学校行事など充実した毎日を送っているかと思います。2学期は1・2年生ともに卒業後の進路に関わる選択科目を決める時期です。担任の先生や進路指導部の先生、保護者の方と相談をして、自分の進路に合った選択科目を考えていきましょう。焦って適当に決めないためにも、しっかり準備しましょう。

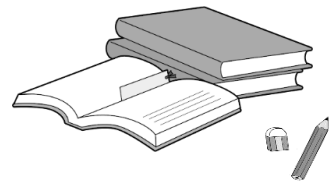
また、各科目からの課題や希望進路の実現に向けた勉強に取り組むなど、学習習慣を確立することも進路実現の重要なカギです。大学・短大、専門学校、就職いずれの進路に進むとしても、しっかりした土台がなければどんなに積み上げて崩れてしまいます。日々の授業を大切にすることはもちろん、それに加えて「自分で学習する習慣」を定着させましょう。2学期は気持ちが緩みがちになりますから、遅刻・欠席にも気をつけましょう。

1年生

移動教室はどうでしたか。企業や上級学校を訪問し、実際に様子を見たり話を聞いたりしたことで卒業後の進路についてより具体的に考えることができたでしょうか。また八丈高校の卒業生との交流を通して、高校生活の過ごし方や進路活動について参考になるアドバイスをたくさんもらったのではないのでしょうか。進路指導部としては、この行事が皆さんの進路選択の一助となることを願っています。

1年生 今後の進路関係の予定

- 11/4 漢検(申込者)
- 11/6 英検 2次試験(申込者)
- 11/12 ベネッセ模試(申込者)
- (11/17.18 職業相談※1)
- 12/16 社会人授業、価値観・興味関心ワークショップ



※1：飯田橋ハローワークから担当者が来島し、来年度就職を希望している生徒に向けての就職相談を行います。就職活動についての疑問点を基礎から相談できます。2年生中心の相談となりますが、1年生でも希望者があれば申し出てください。

10/27~29 移動教室に行ってきました



大学見学



企業見学



専門学校見学

2年生

先日の進路説明会では、大学、専門、就職の3分野に分かれてのガイダンスでしたが、今後の進路活動のスケジュールや今自分がやるべきことを理解することはできましたか。また、進路指導部の各分野担当の先生方との顔合わせにもなったと思います。相談があれば気軽に進路指導部の先生のところに来てくださいね。ガイダンスルームや進路室も積極的に活用してください。

進路説明会では以下の話をしました。[こちらのリンク](#)から資料を確認できます。

大学 ①大学受験のスケジュール ②各受験方法の対策のポイント ③学校推薦の基準について

専門 ①専門学校の特徴 ②学校を比較することの大切さ ③学校推薦について

就職 ①就職活動のスケジュール ②応募書類・採用面接のポイント ③先輩からのアドバイス

2年生 今後の進路関係の予定

11/4	漢検(申込者)
11/6	英検 2次試験(申込者)
11/12	ベネッセ模試(申込者)
11/17	職業講話
11/17.18	職業相談(希望者) (ハローワーク担当者との相談)
12月	オンラインチューターによる受験アドバイス (予定)
2/13~17	インターンシップ(希望者)
3月	オンラインチューターによる受験アドバイス (予定)



3年生

大学

いよいよ気温も低くなり、受験が近くなってきました。推薦入試受験者は小論文や面接などの対策は「習うより慣れろ」です。ある程度自分の志望理由やアピールポイントが決まったら、教員などの周りの人をお願いして、実戦経験をできるだけ積んで一緒に振り返りをしてもらいましょう。一般受験の人は今一度勉強の計画を見直してください。受験当日までにやりたい学習はすべて終わることができるのかを試験当日から逆算して考えましょう。また、11月~12月初旬はいよいよ受験する志望校を最終確定する時期です。模試の判定や自己採点の点数から本当にその志望校を受けるべきなのか、安全校なども含めたすべての志望校を吟味し、最終確定させましょう。受験生は何か聞きたいことがあればどんどん進路指導部の教員に相談しに来てください。みなさんの相談をいつでもお待ちしております。

※[参考資料\(リンク\)「大学入試の過去問演習について」](#)…進路総合で一般受験者向けに紹介したものです。

専門

既に受験が終わった人が多いかと思います。残りの高校生活をどのように使っていくか、簡単なことでもよいので何か1つ目標を作りましょう。学校を休まず授業をきちんと受ける、検定試験に合格する、などの課題を決め、残すところわずかとなった高校生活を充実させてほしいと思います。

就職

残りの高校生活は社会に出る準備をする重要な期間です。今後も休むことなく登校し、卒業後のことを見据えて自分の目標を設定し、それに向けて努力を惜しまず取り組みましょう。